



<VOL155.2020.11>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内  
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Jacob Kristensen (デンマーク)	「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
アジア太平洋地域会長	David Lua (シンガポール)	「変化をもたらそう」
東日本区理事	板村 哲也 (東京武蔵野多摩)	「変化をたのしもう！」
北東部長	南澤 一右 (仙台青葉城)	「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」
もりおかクラブ会長	長岡 正彦	「暗雲をふりはらえ、きっと未来は明るい」

今月の聖句 ルカによる福音書、6章44節



「善い人は良いものを入れた心の倉から良いものを出し、悪い人は悪いものを入れた倉から悪いものを出す。心からあふれ出ることを語るのである。」

会長	長岡 正彦
副会長	山口 貴伸
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	中村 渉 (チャン)
メネット	井上 優子

12月クリスマス例会	
日時、場所	12月12日、18時30分より アイーナ団体活動室3
卓話	現在手配中
第二例会	12月26日、18時30分より 駅前居酒屋じよ居

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさまこんにちは、11月末が近づきました。もうすぐ12月です、一年の締めくくりの月になります。少し早いですが、振り返ると「コロナに始まり、現在もコロナに振り回されている現状です。岩手県でも複数のクラスターが発生して、150人もの方々が苦しんでいます。当初感じた通り、人々の間を行き来し決して無く

なることのないウィルスなのでしょう。インフルエンザのように、気温と湿度が下がれば、活発になるのも同じようです。コロナの陰でインフルエンザの集団感染の報道が無いように思えます。マスク、手洗い、うがいでインフルエンザは近づけないような気がします。敵は、新型コロナに絞ってもいいのではないのでしょうか。「感染症が発病する前に、他人にウィルスを移す。厄介なものだ。」と及川先生が教えてくれました。ならば、やはり有効なのは自己防衛です。皆さん、気を付けて健康にすごしましょう。

11月定例会のご報告。

11月定例会のご報告をいたします。定例会は絶対に中止しないという強い決意で11月を迎えました。今月も卓話のゲストをお迎えしております。11月14日、18時30分より、アイーナ第三団体活動室で開催。出席者、長岡、大関、及川、加藤、濱塚、三田、千葉、中村(敬称略)、ゲスト 魚山 宏さん(シトラスリボンプロジェクトINいわて)、尾河芽生さん(ビリケン)、中村 圭一さん(ソニック)、大久保 里美さん(ブルック)、石川 葉さん(マシュマロ)、玉山 葵さん(いちご)以上盛岡YMCAボランティアリーダーOGとスタッフ。

ゲストの魚山さんは、東日本大震災でボランティアとして岩手に来て、岩手に定住した方です。現在はシトラスリボンプロジェクトINいわての代表として活動しています。今晚の卓話をお願いしておりますのでこの後特集しています。お楽しみに。

嬉しいニュースがあります。ボランティアリーダーをしていて教員を目指していた、5名の教員採用が決定しました。スタッフの子が1人と合わせて6名の教員採用が決定しました。リーダーた

ちを絶賛する言葉には、いとまがありませんが、この子らの努力と熱意に頭が下がります。おめでとう、間違いなく素晴らしい教師になってくれることでしょう。来春からの活躍が楽しみです。

今年の国際協力募金の中止が決定しました。毎年多くの子供たちが集い、募金活動をしておりましたが時節がら致し方が無い事です。盛岡にも確実にコロナが迫って来ています。あえて危険な行動を行わないのも懸命な判断だと思えます。スポーツの大会ででないのですから。今晚の例会は充実していました。このよ

うな活動をしていきましょう。



11月定例会集合写真、左上の「手」は、加藤さん？

## 「シトラスリボン」、優しさで差別と偏見をなくそう

シトラスリボンINいわて代表 魚山 宏さん

みなさん今晚は、シトラスリボンプロジェクトの岩手バージョンを立ち上げた魚山と申します。シトラスリボンプロジェクトとはシトラスリボンを作ったり、身に着けたりすることでコロナ差別をしませんという意味合いです。兵庫県神戸市の出身です。東日本大震災後に大船渡に入り、そのまま住み着いています。被災者支援を行い、現在は

語り部支援や、

追悼伝承行事などを行っています。線香花火ナイトがNPOのメイン活動です。カエルキャラバンと言っておもちゃの交換会と防災訓練をミックスして防災訓練を楽しくしようという企画です。なぜ、岩手に9年も居たかという、岩手の人のやさしさに支えられたという事です。岩手の人が好きで、これからも岩手に住み続けたいと思っています。大好きな岩手でコロナ差別が起きている事に悲しい気持ちになり、そんな中で、シトラスリボンを聞き、ぜひ広めたいと思いました。これがきっかけです。愛媛県発信で、地域活動です。新型コロナ禍の差別や偏見を耳にした愛媛の有志が作ったプロジェクトです。黄緑は柑橘系の色で、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動で優しい街であれば安心して検査も受けられ、そうすればクラスターも発生しないという事を目指しております。3つの輪は、「家庭」「地域」「職場」を表していて、3つの場面で優しく迎えようという活動です。「やさしい岩手」を目指しています。岩手にコロナはなかなか来なかったのですが、「岩手の1号にはなりたくない。」と言うのは、怖がる所が違います。誹謗中傷を怖がるのではなく、コロナを怖がるのが本筋です。家族や仲間を守るために自身が注意する。人を責めるのではなく、やさしい気持ちで感染を防ぐのを目指しています。賛同していただいて、参加してほしいのですが、シトラスカラーをイメージ



したひもを準備して、3つの輪を作ればシトラスリボンができます。それを身に着けたり、飾ったりしてSNSで発信していただくと活動が広がっていきます。

栃木県の災害支援の仲間で活動が広がっていて学校の道徳の時間で紹介したり、ゆるキャラが身に着けたり、商店街にフラッグを建てたり活動が広がっています。盛岡でも肴町の商店街に飾るのを目指しております。愛媛県では県庁が協力的で県庁がライトアップされたり、県庁の中でパネル展が行われたりしています。盛岡市ではワークショップを開催しテレビ局が取材してくれて、ニュースの特集コーナーで放映していただきました。ここで学んだ高校生たちが、独自に小中学校で独自のワークショップを開き、シトラスリボンを制作しました。岩手くグルージャ盛岡も参加してくれて、マスコットにリボンを飾ってくれました。

シトラスリボンをいろんな人が付けたり、見かける事により、差別や偏見が恥ずかしいと思える事が増えて行けば、やさしい岩手が出来るかなと思っています。

この活動を通じて差別とはなに？漠然とよくわからない事が、話し合いで具体化していきます。正義よりやさしさがいいと思っています。正義は良いことなのですが、振りかざす前に、やさしい気持ちをもたないといけません。シトラスリボンはコロナだけに留まらず、差別全般を無くす事ができればいいと

思っております。今回のコロナ禍は歴史の教科書に載るようなことだと思っております。その時、誹謗中傷がすごかった事より、優しさが広がったよという記述になることを願っています。

### 感想

いつも思う事ですが、地域に新しい風を起こすのは、県外者の活躍です。地元の間人はなぜこのような活動を自身から起こさないのでしょうか？少し、恥ずかしくなります。思えば、もりおかクラブを立ち上げたのも県外者の井上さんでした。農業移住者の方々もほぼ県外者です。頑張り、岩手県民、がんばれ盛岡市民、乗かって活動するのも悪くないですかね。

かやっています。

**濱塚メン:** 次男の結婚式が迫ってきました。時勢がら迷いましたが行う事にしました。三田メンに招待状を出していますが

## 11月定例会1分スピーチ

**大関メン:** 今年1番良かったのは、病気になるなかったこと、ゴルフの成績が良かった事です。今年は回数が少なく40回し

無理しないで出席してほしいです。

**三田メン:** 半年ぶりの出席です。東日本区のユース事業主任を行っています。オンライン会議が主です。クラブに情報をお届けします。

**及川メン:** 先月と今月、2か月連続で出席しました。コロナの影響があります。こんな変な感染症は初めてです。ウィルス感染症は潜伏期がありその後発病します。今回のコロナは潜伏期から他人を感染させる特徴があります。また一回かかって免疫ができてその後また感染するとう特徴もあります。いろんなことが解ってきましたので私たちも最小限度で食い止めるよう頑張っていきます。

**大久保 里美さん(ブルック):** 新型コロナの差別と偏見をなくす活動に参加しています。独自にシトラスリボンの事を知り、岩手を調べて魚山さんを知りました。盛岡YMCAでもできたらなと思いました。今日の例会は個人的にも嬉しいです。差別と偏見を無くす活動をしていきます。

**玉山 葵さん(いちご):** 私は、盛岡YMCAで世界の料理を作って食べようという活動をしています。大変楽しいです。今日の卓話を聞いて私も参加したいとおもいました。

**長岡会長:** 今年の焼きそばファンドは雫石の軽トラ市で3回行いました。リーダースタッフの元気な声掛けで2回は100食完売しました。今日大関さんに売り上げを渡せました。来年もよろしく願いいたします。

**中村(担当主事):** コロナ禍の中、学童には感染対策を徹底させています。自身と仲間を守るために、マスクの常用は意識が出来あがったように感じています。シトラスの話聞いて、さらに子供たちに伝える意識を学習しました。

**魚山 宏さん:** お招きありがとうございました。YMCAの活動は学習してきましたが、アウェイなので少し不安でした。皆さんはとてもやさしい顔をしていますね。雰囲気良かったです。また、お会いしたいですね。

**石川 菜さん:(マシュマロ):** 出身は一関市です。大学は栃木県

で過ごし、栃木YMCAのリーダーをしていました。昨年の教員試験は不合格でした。4月から。盛岡YMCAに入職しましたが、今年の教員試験に合格できました。来春から、教員になります。

**千葉メン:** コロナ対策として、国では160兆円使ってきました。盛岡市は250億円くらいです。宿泊補助で旅行を応援していましたが、現在の状況を見ると複雑です。年末に向けて、また経済活動が停滞しまうのではないかと危惧しています。岩手1例目の患者はひどいじめにあったようです。今晚の卓話を、ぜひ全市民に伝えたいと思います。特に高齢者に向けたいですね。

**中村 圭一さん(ソニック):** コロナ禍ですが、子供たちは元気に過ごしています。実家に帰れていません。実家の犬に会いたいです。

**尾河芽生さん(ビリケン):** 今年の遠隔授業は私にとってもぴったりでした。後期は、出席しなければなりません。最近コカ・コーラのコークオンというアプリでポイントが貯まり、15Pで無料で1本貰えます。さらに月曜日の朝はポイント2倍、おかげで苦手な登校が苦にならなくなっています。さらに7日間で3万歩、歩くとともに1P貰えて、健康になっています。

**加藤メン:** 畑は立ち枯れにしています。あと2週間で新豆の収穫になります。私たちは細菌の中で暮らしておりますので、新型コロナでも掛かって当たり前ですよ、肝心なのは他人に移さないようにする事です。それを意識しているかどうかです。蚊が腕に止まると殺してしまうでしょう。人間のエゴがそこにあります。エゴは無くならないですし、突き詰めれば差別の問題になります。オーガニック男からのおことばでした。



ご注文はFAXメールでお願いいたします。

## もりおかクラブ、りんごファンド

今年も、もりおかりんごを販売いたします。「りんご工房きただ」さん自慢の、完熟サンフジ(蜜がたっぷりはいったりんご)になります。「りんごってこんなにおいしかったの」、と納得の味をご賞味ください、この季節お歳暮にも最適です、みなさまの注文をお待ちしております。特選の品質確保のため12月20日で注文を締め切ります、お早目のご購入をお待ちします。

りんご工房きただの「こだわりりんご」でございます。  
サンフジ、秀、2L、10Kg、28玉、10000円(送料、税込み)  
サンフジ、秀、2L、5Kg、14玉、6000円(送料、税込み)

出荷時には無農薬になるような減農薬栽培で作ったりんごです。生産量は青森、速さでは長野、食べておいしい岩手のりんご、おくてのフジは日本一です

FAX番号 019-684-6361 フジクリーンイワテ  
メール fjc.takjouk88@ec1.technowave.ne.jp  
郵便番号、住所、氏名、商品名、数量、送付先、を連絡ください  
贈答の場合は、送付先の情報もお知らせ下さい。  
料金は口座振込でお支払いください。  
(株)岩手銀行滝沢支店 銀行コード0123  
普通口座2031300  
もりおかワイズメンズクラブ 井上修三



# 「フリテン盛岡DAON」

## もりおかクラブの状況報告

11月の出席率	8/13	61 %	ゲスト6名	ビジター2名	メネット	2名		
メーキャップ	1名			11月切手	95g	累計	498g	
11月のにこにこ	0円	累計	円	焼きそば	0円	累計	42,000円	
11 石鹸	1,100円	累計	1,100円	りんご	0円	累計	0円	
11 献金	0円			ファンド合計	0円			

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

11月のハッピーバースディ 全国の11月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます。

## 次世代漆協会 漆苗(うるし)、植樹作業

先月の卓話者で、12月にもりおかクラブに入会する、細越確太さんが代表の次世代漆協会が行っている漆増産計画の具体的な作業のお手伝いをしてきました。11月8日参加者は、長岡、濱塚、ゴリナ、しゃべる、ラフ、シュリンプです。2回目、11月13日はリーダー10名と長岡、濱塚です。

11月は漆の植樹に絶好の季節という事で広大な面積の山肌には漆の苗を植えてきました。どれだけ広いのでしょうか、こっこの山から、向こうの山まで、杉を伐採した後の山肌に、これもいったい何本あるんだ、と言うくらいの数がある、育て上げた漆の苗を植樹していきます。

細越さんから手順と注意事項を聞いてからの作業開始。斜面の上から下へ、2m置きに1本植樹します。糸を張ってそれに沿いながらまっすぐに。終わると、2m糸を移動して、また植えて行きます。これを2組で行っていきます。手順は20cmの穴をあけて、肥料を投入、苗をポッドごと埋めて、まわりに土をかぶせて踏み固める。これの繰り返しです。穴あけ係り、肥料投入係り、苗を植える係り、土かぶせ係り、4人で1チームを作りました。相手は苗と言えど、漆です。ゴム手袋を2重にして、素肌は出しません。顔がかゆくても漆を触った手でかいてはいけません。かぶれます。子供の頃漆でかぶれた経験があり、あのかゆみの苦しさを思いだしていました。なんども注意してかぶれ防止を呼び掛けていました。ゴリナとしゃべるの二人の女性は、「農家に嫁いできた、都会の女性、若奥さん」という感じでほほえましいです。一生懸命斜面を登り、下り、作業を続けています。突然「きゃ〜」、悲鳴です。しゃべるが斜面から林道へ約2mの崖を踏み外して落下しました。一同青くなりませんが、本人いわく、「うまく受け身が取れたのでなんともないです。」事なきをえて安堵いたしました。お昼の後、長岡がおやつ「のんびり」を買ってプレゼントしました。



おお、ここか。急斜面を見下ろし茫然自失？

4時間で、約350本植えました。ものすごく広い範囲を植え終わったと思ったら、「え、たったこれだけ？」山の広さに対して植え終わった面積はほんのちょびつとです。果てない作業です。2日目は大人数で同じ作業を行いました。斜面には伐採し、枝打ちの小枝が大量にあり、作業がなんぎしました。細越さんの話では、今日の斜面は前回の斜面に比べ、4倍の作業量だとの事。確かに穴をあけるために折り重なった枝を片付けなければならず、10人のリーダーでも足りないくらいです。二日目の植樹本数は6名の前回より少ない300本でした。今日の「枝だらけの斜面を植え終わったから、次からは楽ですよ。」なんて、自分たちに言い訳して作業を終えました。これは来年の春、新芽が出てきたころに見に来なければならぬと話しながら帰途になりました。ご苦労さまでした。



しゃべる、女性らしさを忘れません ラフカメラ目線 はまちゃんもカメラ目線

## 編集後記

例会の記事から2ページ書きました。手抜きのように悪い気がします。シトラスリボンの精神は心に刻んで暮らしていきます。優しさをもって差別と偏見の撲滅を目指します。

漆かぶれは全員無事だったようです、よかった、よかった。

岩手山の頂上には冬将軍が陣を張りました。本日28日には里にも雪が降り、長い冬の戦いがはじまりました。冬にもコロナにも負けないよう、がんばりましょう。